

依頼者名: 有限会社 信州ファーム荻原 殿

結果報告日: 2014年10月6日

試料名 : 東御市八重原 無農薬米

報告書番号: RIN14QJJ039CP1

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 埜 章
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産学共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定 (定量下限 0.5 Bq/kgでの核種測定)

分析結果: Ge定量0.5

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値	検出下限値
Iodine-131	米	ND	Bq/kg	0.39	0.26
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.50	0.33
Caesium-137		ND	Bq/kg	0.47	0.31
放射性セシウム計	米	ND	Bq/kg		

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。

定量下限値:測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。

本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、ND(不検出)表記の場合は、検出下限にての検出がない事を意味する。定量下限と検出下限の間での検出値がある場合、測定時間を延長の上、確定を実施。

測定装置: CANBERRA GC2020

測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

(施肥中のカリウムには、天然の放射性カリウムが含まれる。簡易測定器では

放射線として検出される。放射性セシウムとの誤認防止の点で放射性カリウム値を参考記載)

参考値: 放射性カリウム検出量: 58 Bq/kg

結果注釈: 放射性ヨウ素(I-131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の取去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)